

第48回新潟地区中学校総合体育大会 兼  
 第48回新潟県中学校総合体育大会新潟地区予選会  
 卓球大会要項

- 1 主催 新潟県中学校体育連盟 新潟地区中学校体育連盟
- 2 共催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会
- 3 主管 新潟市中学校体育連盟
- 4 後援 (公財)新潟市体育協会
- 5 期日 平成29年7月5日(水)～6日(木)
- 6 日程 第1日目 7月5日(水) 8:10 代表者会議  
 9:00 開会式  
 9:30 試合開始
- 第2日目 7月6日(木) 9:00 試合開始  
 15:00 閉会式
- 7 会場 豊栄総合体育館
- 8 参加資格

	新潟東地区	新潟西地区	佐 渡	燕・西蒲	合 計
団 体	男5 女6	男7 女7	男2 女1	男2 女2	男16 女16
個 人	男24 女24	男32 女32	男 8 女 8	男12 女12	男76 女76

- 9 試合種別  
 (1) 1日目 男女団体戦 予選リーグ・決勝トーナメント  
 (2) 2日目 男女個人戦 決勝まで
- 10 競技方法と登録選手  
 <団体戦>  
 (1) 4シングルス・1ダブルス、3番にダブルスをおく。ダブルスとシングルスは兼ねて出場できない。  
 (2) チーム編成は、監督1(当該校校長・教員)、コーチ1(当該校校長・教員又は外部指導者)、マネージャー1(当該校教員か生徒)、選手10名の13名以内。  
 (3) 男女各々全校在籍生徒数が6名に満たない学校の出場については、県大会の要項に準ずる。  
 (4) 団体戦は、1ブロック4チームで予選リーグを行う。その後、上位2チームによる決勝トーナメントを行う。団体戦は全て3点先取とする。
- <個人戦>  
 (1) 個人戦はトーナメント方式とする。  
 (2) アドバイザーは1名とする。アドバイザーは、校長・教員・生徒、もしくは外部指導者とする。また、選手が複数出場する場合は、その数まで登録することができる。
- <団体戦・個人戦共通>  
 (1) 1ゲーム11ポイント、5ゲームスマッチとする。  
 (2) 外部指導者については、別紙「指導者承認書」を提出する。
- 11 組合せ 各市内大会などの結果を参考に地区専門委員で決定する。
- 12 表彰 団体戦は3位(ベスト4)、個人戦は5位(ベスト8)まで表彰を行う。
- 13 申込み  
 (1) 所定の申込用紙に記入(校長印必要)し、振込明細書のコピー(A4貼りつけ)を添えて申し込むこと。  
 ※今年度から参加料納付書は不要です。  
 (2) 所定のエクセルファイル(中体連ホームページよりダウンロード)に必要事項を記入し(校長印不要)、メールでも申し込むこと。

(3) 申込み期日と申込み先 平成29年6月23日(金) 17時必着  
〒950-2022 新潟市西区小針1丁目37番1号 小針中学校内  
新潟地区中学校卓球大会事務局 中倉 博 宛  
TEL 025(267)1851  
E-mail j705nikobari@city-niigata.ed.jp

※「申込書郵送」「メールでの電子データの送信」両方の申込をお願いします。  
※ 関係書類(組合せ、連絡事項等)を6月28日(水)までにメールで送らせていただきます。メールを確認できない場合は、小針中学校中倉までお問い合わせください。

14 参加料 1人 500円(下記口座にお振り込みください。手数料は各学校負担)

第四銀行 豊栄支店 普通 1537310 新潟地区中体連卓球専門部 代表 中倉 博
----------------------------------------------

※振り込むときのお名前は、下の例のようにお願いします。  
「コバリチユウダンシ ナクラ ヒロシ」  
「コバリチユウダンジヨ ナクラ ヒロシ」

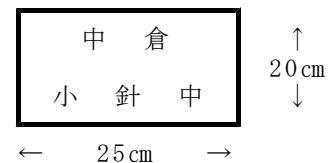
15 宿泊 平成29年度新潟地区中学校総合体育大会宿泊要項を参照し、新潟市中体連事務局 新潟市立小針中学校 小林正樹宛にFAXで申し込む。  
(FAX025-267-1852)

16 県大会出場

- (1) 団体は上位5チーム、個人は上位20名が県大会出場権を得る。
- (2) 地区大会出場校は、校長印を捺した県大会申込書を作成し、地区大会に参加する。
- (3) 県大会出場の資格を得た学校は、その場で書類を作成し、参加料1人900円、参加料納付書(中体連ホームページよりダウンロード)を添えてすぐ申込みをする。

17 付 則

- (1) ルールは、現行の日本卓球ルールと本大会要項による。
- (2) タイムアウト制を適用する。
- (3) 試合中ラケットにプレー続行不能な損傷が発生した場合、代替りのラケットか競技領域内で手渡されたラケットで、すぐに試合を続行すること。なお、ラバー破損の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
- (4) 使用球は、JTTA指定使用球のプラスチック製ホワイトボール(ニッタク)とする。
- (5) ベンチは登録された者以外入れない。
- (6) ゲーム間の休憩時間は1分以内。①団体戦ではベンチ内の人、②個人戦では登録されたアドバイザー1名からアドバイスを受けることができる。
- (7) 監督、コーチ、マネージャー、アドバイザーは、用意されたリボンをつける。
- (8) 開会式及び、団体戦第1試合に出場するチームの選手のユニフォームはチームで統一する。
- (9) 選手は、プレー領域に入る時は、半袖、短パンで入ること。半袖(ユニフォーム)は短パン等の内側に入れる。また、自分の試合が終了するまでプレー領域を出ないこと。
- (10) ユニフォームは、主たる色が白であってはならない(平成27年9月1日より改訂)。
- (11) 原則として、監督及び選手は試合終了までベンチに居ること。
- (12) 選手は、右図の形式のゼッケンを着用する。  
※(財)日本卓球協会交付のものが望ましい。
- (13) 試合前後の挨拶は、監督も選手も行い、その後改めてベンチにいる相手監督に挨拶をしない。
- (14) 当日の選手変更は代表者会議で特別の事情があると認められた場合、団体戦のみ認められる。
- (15) 個人戦で締切日前に辞退者があった場合、当該地区で補充する。
- (16) その他
  - ① 団体戦は進行上2台以上で並行して競技を行うこともある。
  - ② 写真撮影のストロボ・フラッシュは厳禁とする。フロアでは許可された者以外写真撮影、ビデオ撮影はできない。
  - ③ ベンチで水分補給する場合は、こぼれないようにスクイズボトルを使用する。



18 生徒指導の申し合わせ事項

中学生らしさを著しくそこねる髪型などの生徒は、指導・処置後参加させるようにする。